

# さんようおのだ 議会だより

9月定例会〈概要〉 — 2

委員会レポート — 5

一般質問 — 8

議会報告会 — 12

視察報告 — 13

お知らせ — 14

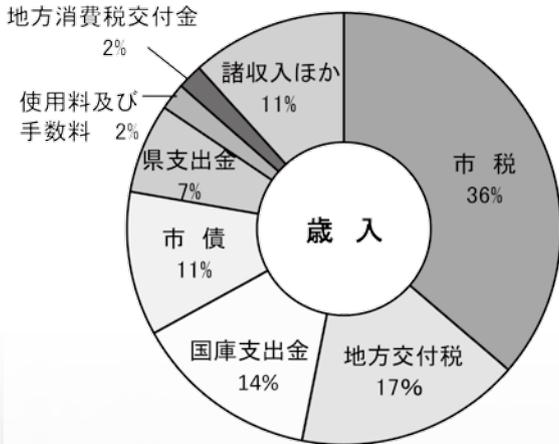


# 平成 22 年度 一般会計歳入歳出決算認定

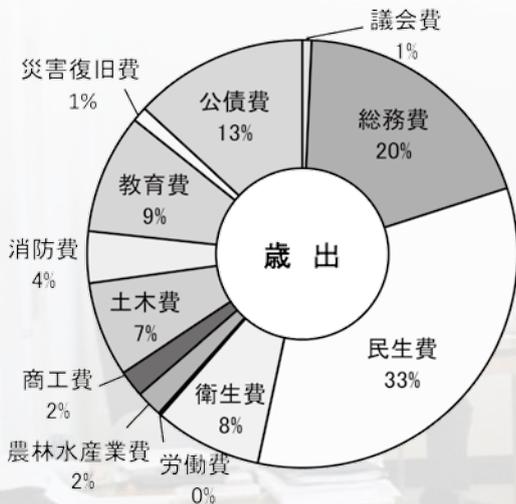
## ●事業評価を取り入れた決算審査

今年の決算審査では、当初予算で計画した新規事業を中心に34の事業について執行部が事業評価を行い、この事業評価表をもとに決算審査を深めました。今回はそのうち、市民の暮らしと関係が深い次の3点について、委員会での論点などをお伝えします。歳入歳出は以下のグラフのとおりです。

歳入 276億7303万5190円



歳出 273億1581万2267円



## 空き家バンク整備事業

団塊世代の大量定年を迎え、全国各地でUJITurnの受け入れを模索する動きがあり、山口県は補助金を創設し、各自治体が「空き家バンク整備事業」を実施しました。本市でも、建築住宅課が窓口になりNPO法人と共同で事業展開に取り組みました。初年度は相談件数が4件で、実際に転入された件数はありませんでした。次年度からの方向性としては「来年度重点化する」となっています。

委員会の審議では「具体的に行われたこととして、ホームページを立ち上げているが、不動産屋の域を出ていない」「ホームページを見たが地区ごとに分けてはいるが件数が少なすぎて参考とならない」「予算800万円を使ってこの内容では、魅力的とはいえない」などと、さらなる改善が必要と指摘しました。



## 放課後子ども教室推進事業



放課後子ども教室（厚陽小学）での芋掘り

この事業は、放課後の子どもの居場所作りとして国と県の補助金を活用し、児童館のない山陽地区で実施したものです。コーディネーターが安全管理員とともに、子どもたちと一緒に「お菓子作り」「しめ縄作り」「畑の植え付け」などを行っています。評価としては保護者などから高い評価がある一方、開催頻度の問題やコーディネーターと安全管理員の負担が大きくなっていて、今後も現状のまま事業維持するとしています。

委員からは「こども福祉課が小野田地区で行っている児童館での事業と同じではないか」「児童館のない山陽地区との格差が大きい」「児童館事業、児童クラブ事業と似通った事業を別の部署が担っていて、しかも児童クラブなどでは資格を持ってやっているのに、こちらは資格がない人がやっているのは問題」など、縦割り行政の弊害とする指摘をしました。

## 高千帆運動広場多目的トイレ整備事業



高千帆運動広場多目的トイレ

この事業は「屋外スポーツ施設において不足している障がい者用トイレを設置することで、障がい者の社会参加の促進、福祉の向上を図る」ものです。

委員から「実際に行って確認したら、トイレにカギがかけられており使えない」との指摘がありましたが「防犯上の理由によりカギをかけている」との答えでした。

しかし、委員から「車椅子利用者に聞くと『その場所に車椅子対応のトイレがあることは知っているが、カギがかけられているので出かける際の利用対象にできない。』という声がある。東沖緑地公園の障がい者用トイレにはカギがかけられていないので、障がい者用トイレマップに掲載されているが、このトイレは障がい者用トイレマップからも外されている」と改善の指摘がなされました。これに対して市側は「内部で検討したい」と答えています。

今年度は、赤崎地区にある赤崎運動広場でも建設が予定されています。



### ◎決算審査で明らかになった行財政運営の課題

今年度の決算は、実質収支が約3億円の黒字を計上したものの税収が落ち込み、財政運営は依然厳しい状況が続いています。

委員会審査の総括意見として

1. 同じような事業を2課が実施しているなど縦割り行政の弊害がでているため、効率的な運営を指摘する。
2. 事務事業評価書の精度を高め、内容を精査して予算に反映するべきである。
3. 財源が乏しいため、事業計画ができないことがないように、歳入確保の努力を要請する。  
などが出されました。

**審査結果** 決算は賛成多数で認定されました。  
なお、附帯決議を全会一致で可決しました。

### 附帯決議

決算審査特別委員会では、平成22年度山陽小野田市一般会計歳入歳出決算認定の審査において、初の試みとして事務事業評価をもとに審査を行ったところである。今後は、以下の点を十分に留意し事務事業評価を作成されたい。

1. 各担当部署は評価書作成の意義を再認識すること。
2. 評価書の作成において画一的、統一的な基準を徹底すること。
3. 評価書の精度を上げること。
4. 評価書を客観的に審査する体制を確立すること。
5. 評価書を速やかに議会へ送付すること。

以上、決議する。

平成23年9月30日

山陽小野田市議会

## ◆◇自治基本条例審査特別委員会中間報告◆◇

平成23年3月3日の本会議において、まちづくりを進めるための基本的なルールである自治基本条例について慎重審議することを目的として当委員会を設置しました。

- (1) 執行部との質疑・応答
- (2) 全議員との意見交換
- (3) 参考人招致（つくる会、自治連、ふるさと）
- (4) 修正案に関する意見集約
- (5) 執行部とのすり合わせ

以上のとおり進めてきましたが、審議にさらなる時間を要するため、継続審査となりました。

今後の取り組みについては、意見が分かれている論点について調整し、可能な限り参考人の意見を取り入れながら修正案をまとめていきます。

### <特に意見が分かれている論点>

- (1) 最高規範という文言を使うことについて
- (2) 市民の定義について
- (3) 市長の長期在任に関する条項について
- (4) 職員が地域活動に努めることについて

### <参考人の意見や要望>

- (1) 前文の表現を改めてほしい
- (2) 市の定義について再考してほしい
- (3) 市民の知る権利の保障などについて明記してほしい
- (4) 市政に関する意思形成過程の公開について明記してほしい
- (5) 公共的民間団体の位置付けを明記してほしい
- (6) 「ですます」調にしてほしい



# 委員会レポート

## ■ 民生福祉常任委員会

### 一般会計

#### ● 23年度補正予算（第5回）

#### 斎場、改修か？建て替えか？

**概要** 小野田斎場において2号火葬炉のレンガ及び3号火葬炉の煙突に破損が認められました。火葬中の事故が起こらないよう緊急に修繕を行うものです。

**主な論点** 小野田斎場、山陽斎場共に築30年がたち、老朽化が進んでいます。昨年も火葬炉を修繕していることもあり、このまま基幹改修を続けていくのか、あるいは合併特例債を活用して新しい斎場を建て替えるのが議論されました。

**結果** いずれの方向でいくのか執行部で協議していますが、最終的な結論が出ていません。合併特例債の期限が迫っていることでもありますので、早期にしっかりとした方向性を示すよう求めました。

（全員賛成）

### 特別会計

#### ● 22年度国民健康保険会計決算認定

#### いかに医療費を抑えていくか？

**概要** 国保加入者の1人当たりの医療費は40万8069円で県内2番目の高さです。このことが高い保険料に跳ね返っていることが報告されました。

**主な論点** ジェネリック医薬品の推進に加えて、重複受診を防止すること、がん検診の受診率を上げること、保健師による訪問指導を充実させることが医療費を抑制するのではないかが議論されました。

**結果** 来年度より、ジェネリックを使った場合と使わなかった場合の差額を示す「差額通知」を採用する考えが示されました。しかし、医療費抑制の対策が不十分であること、保険料の大幅な引き上げにより市民に大きな負担となったことが指摘されました。

（賛成多数）

### 企業会計

#### ● 22年度病院会計決算認定

#### 入院、外来とも患者数は減少

**概要** 入院患者が前年度に比べて2545人減、外来患者が618人減となったこと、原因は常勤の整形外科医と循環器内科医が退職したが後任を招へいできなかったことによるものであることが報告されました。

**主な論点** 医師の招へいの見込みについて質疑があり「整形外科医や産科医はうまくいったが、循環器内科医が厳しい」との答弁がありました。またジェネリックについては、市の国保財政に資するのであればできる限り増やす努力をすることでのことでした。その他、山陽地区から市民病院への交通アクセスについても議論しました。

**結果** 新年度予算について反対したこととの整合性から決算認定しないとの議論がありましたが、賛成多数で認定されました。

（賛成多数）



## ■ 総務文教常任委員会

### 条 例

#### ●転入促進条例の制定（継続案件）

#### 新築は5年間で平均40万円を支給

**経過** 市外から家を新築または中古住宅を購入されて転入した方に奨励金を支給するというもので、6月議会から継続審査となっていました。

**主な論点** 委員から「この条例案だけではあまり効果が期待できない」「定住策も併せて若者が住みたくなるまちづくりを盛り込むべきだ」「財源についても見直すように」との意見が相次ぎました。市長から「さまざまな政策が考えられるが、ここはまず一歩でもいいからぜひ前進したい」という思いが語られました。

**結果** 「100点満点ではないが、少しでも前進できるなら第2、第3の定住策が示されることに期待する」とのことで可決。なお、財源については委員会の指摘どおりに見直すことになりました。（全員賛成）

### そ の 他

#### ●土地の取得

#### 土地開発公社の不良資産を整理

**概要** 公共事業用地の先行取得として公社で購入していた土地が、その後の社会情勢の変化などで処分できないまま、不良資産となっています。市が買い取ることで公社の金利負担をなくし、経営健全化を図ります。また、市の金利負担分については国の交付税算定の際に有利な措置がされます。

**主な論点** 「なぜ塩漬けとなってしまったの

か」「市の普通財産となった後の活用は考えているのか」「国の財政支援額はいくらか」

**結果** 活用については、市内の市有財産活用検討委員会で今後検討されます。平成20年度から24年度までの一連の公社健全化により、5年間で約13億円分の不良資産を解消し、約8000万円が交付税で支援されます。

（全員賛成）

#### ●厚陽小中学校整備事業請負契約の一部変更

#### 市有林の活用に課題

**概要** 整備進行中の厚陽小中学校に市有林のヒノキを伐採して製材し、使用するとして契約し工事を進めています。計画の甘さから大幅な木材不足が判明し、約4500万円の追加が必要となったものです。

**主な論点** 通常60～70%とされる原木から製材後の利用率を57%と見て伐採をし、なおかつ多めに切り出したにもかかわらず、実際の利用率は30%程度でしかなく、多額の見積もり違いを生じました。また、既に工事が終わっている改修部分においても、事前の調査不足から、追加が必要となりました。伐採業者との契約にも甘さがあると指摘せざるを得ません。

**結果** 今後二度とこのような事態を招かぬため綿密な計画を立てるようとの附帯決議を付して可決しました。（全員賛成）



建設中の厚陽小中学校



# 委員会レポート

## ■ 総務文教常任委員会

● 宇部・山陽小野田消防組合の設置

### 重要議案は 当市議会の意向を尊重する!?

**概要** 昨年12月に設置された宇部市との広域化協議会で6回の協議の結果、来年4月、宇部・山陽小野田消防組合が発足することが決まり、組合の規約が議案としてそれぞれの市議会に諮られたものです。

**主な論点** 「組合議会の議員数が、宇部市が6名で山陽小野田市が3名では不公平である」「白井市長の提案で追加された『当市に関する重要議案については当市議会の意向を尊重する』というただし書きがどこまで効力を発揮するのか疑問だ」「重要議案とは何か、明文化すべきだ」「埴生出張所の配置人数は

現員8名から11名になるというがそれでもなお不足している」等々不安視する意見がありました。

**結果** 市長から「ただし書きについては法律の専門家として効力があると断言できる」「埴生出張所については指摘を受けて再度検討し、当面13名を配置することにした」「埴生地区に協議会を立ち上げて地元住民の意見を聞く場を設けることにした」「広域化しなければ、通信指令システム更新・無線デジタル化で3億2000万円の出費増となる」などの答弁を受け、消防組合運営に当たっては市議会と連携しながら進めることを決議して、可決しました。

(賛成多数)



## ■ 産業建設常任委員会

### 企業会計

● 23年度工業用水道事業会計補正予算(第1回)

### 病院事業への貸付5年延長へ

**概要** 平成19年工業用水から病院へ3億5000万円貸し付け、当時は1年据え置き5年償還としていましたが、平成21年度末に1年延長、そして22年度末にさらに5年延長し、償還期間は27年度から30年度の4年間となりました。

**主な論点** 「工業用水の事業に支障が出る時には即時返すという覚書があるのではないか」に対し「覚書に『市が病院の債務を保証する』と『当事者の一方が本覚書の条項に違反した時は、他の当事者はその時点でこの覚書

を解除することができる』という文言が入っている」との答弁がありました。

(全員賛成)

### 条例例

● 勤労青少年ホーム条例の一部を改正する条例の制定

### 音楽室を除く修正案を委員会提案

**概要と結果** 施設の使用料を個人・団体による規定から、占有面積に合わせた料金改正へという提案がされました。しかし、勤労青少年ホームには音楽室があり、利用状況などから個人の負担が大きくなるため、音楽室については改正しないという修正案を全会一致で可決しました。(全員賛成)

# 一般質問



9月6日から9日までの4日間行われた一般質問。15人の議員が市政全般にわたる諸課題について、執行機関に説明を求めたり、方針について質問をしました。

ここでは、質問の中から項目を1つに絞って内容の要旨を掲載しています。

詳しくは、ホームページから録画映像をご覧ください。



傍聴席から見た議場の様子

## 介護保険料が高齢者に大きな負担

山田伸幸議員

**問** 来年度、介護保険料の改定があるが高齢者は現在の保険料でさえ限界。これ以上の値上げはすべきではない。高齢者の60%が市民税非課税であり、保険料の減免が必要。低所得者の負担軽減を。

**答** 高齢化の進行と給付費が増大し保険料は月1000円近く上昇する見込み。保険料は9段階に分けているが、さらに細分化して低収入者に配慮をした段階設定とする予定。低所得者への減免制度は考えていない。準備基金の活用で保険料負担が上昇しないよう努めていく。



## 公会堂の補助金規程について

伊藤実議員

**問** 昨年の水害で千町二、三区公会堂は被災し、改修する計画であった。特に千町二区は水害で世帯数もさらに減少し、公会堂利用は総会以外ほとんどない。自治会運営自体厳しい状況であり、今後の維持管理費等を考えると改修は断念し、厚狭公民館の早期建て替えを切望し、解体する苦渋の決断となった。しかし今の規程では解体には補助金はない。補助金規程の見直しについて問う。

**答** 社会情勢や公共性等々について考慮し、規程の見直しを考えている。



被災した千町二三区公会堂

## 新病院建設は市民の理解が不可欠

硯谷篤史議員

**問** 新市民病院建設についての市民合意の形成が不十分だ。また、30名の医師が確保できなければ、砂上の楼閣となる。心配する市民の声にどう答えるのか。

**答** 公募の市民を交えた新病院建設構想検討委員会からの答申、それを受けての市民説明会、さらには市民の負託を受けた市議会の議決を経て進めており、おおむね市民合意は得られたと考えている。医師確保は山大病院との関係もあるし、新病院建設で労働環境が改善されれば大丈夫だと思っている。



山陽小野田市民病院



# 一般質問

## 小野田・楠企業団地の企業誘致策

平原 廉 清 議員

**問** ①価格の引き下げ及び信託等へのあっせん依頼はしないのか。地価は毎年下がっており、この価格では売れないのではないのか。②当市ホームページの扱いが小さ過ぎる。ドカーンとやるべきだと思うがどうか。③売却目標年度の設定はしないのか。

**答** ①県とも相談したが値下げや業者への委託はやらない。今の条件で行く。②見直して、改善する。③目標は設定しないが、あえて言えば平成24年3月までを目標に頑張る。

基準地番地	平成15年・円	平成22年・円	変動率・%
山・小9-1	18,500	12,300	-33.5
宇9-1	22,300	17,100	-23.3
宇9-2	28,100	20,800	-25.9

(山口県地価調査ポイント/工場地)

## 震災がれきの受け入れ

高松 秀 樹 議員

**問** 週刊誌アエラ8月8日号によると、震災がれき受け入れに手を挙げた自治体の一覧表の中に山陽小野田市がある。震災がれきの受け入れについての今後の方針はどうか。

**答** この記事は、すぐにも被災地の放射能の汚染がれきの受け入れに手を挙げて実際に運び込まれるかのような印象を与えるが、放射線がれきの受け入れに対して手を挙げたものではない。また、受け入れには搬出側と搬入側、双方の合意が不可欠であり、直ちにまた一方的に放射能汚染がれきが本市に搬入されることもないと思っている。



混合ごみ仮置き場

## 地球に優しい新ごみ焼却場建設を

衛 藤 弘 光 議員

**問** 新ごみ処理施設建設検討委員会での、基本計画策定に関する基本的事項について問う。

**答** 平成27年3月までには、事業を完了。処理能力は日量90t。余熱利用として、下水、し尿処理脱水汚泥を乾燥して焼却するが、今よりかなり節約できる。発電は過大な設備投資を要するので採用しない。管理運営は、公営、民営等今後定める。財源は、循環型社会形成推進交付金が担保されており、特例債についても活用していく。



建て替わるごみ処理施設

## FM放送局開設の見通しは

下 瀬 俊 夫 議員

**問** 市内限定のコミュニティFM局開設の動きがある。地域に特化したニュースやプログラムだけでなく、緊急時の防災メディアとしても注目されるが、見通しと対応はどうか。

**答** 地域・行政情報や災害時の有効な情報発信となるコミュニティFM局が、市内全域を受信エリアとして開設されれば、市民にとって情報の共有と一体感の醸成に寄与するものと期待される。現在、民間主導で行われており、適切な対応について今後検討したい。



地域密着型メディアです

# 一般質問

## 小さな「いのち」を守りたい

吉永美子 議員

**問** 昨年の9月議会で、犬の登録による手数料を活用しての犬や猫の避妊・去勢への助成制度の導入を提案したが、その後の検討状況はどうか。命を救う思いで拾っておられる方をどう支援していくのか、その点に焦点を当てていただきたい。

**答** 市に持ち込まれるのは野良猫が大半で、非常に難しい状況である。飼い猫については飼い主責任という方向で考えている。ただ、手数料をたくさんいただいていることは特定財源的な意味も若干あるので、他市の状況等を見ながらまた考えていきたい。



彼らはモノではありません！  
ありません！

## 高千帆排水機場を都市型排水に！

尾山信義 議員

**問** 高千帆排水機場は、ポンプ能力が、近年の異常気象による集中豪雨等に対応しきれないのが現状で、毎年のように、高千帆地区一帯が冠水をしている状況をどうとらえ、対応をどのように考えているのか、また都市型排水システムの検討が必要ではないか。

**答** 行政の非常に重要な、かつ、いつまでも放置できない、そうした時期に来ている課題の一つであるというふうに認識している。高千帆の排水機場と下木屋の排水機場、年次計画を立てる。



容量不足による高千帆地区の冠水状況

## 厚狭川「新」橋工事ようやく再開

矢田松夫 議員

**問** 崩落した新橋は災害の歴史を刻むものであり、橋の名称に災害に強いまちづくりを託しては。新橋の完成予想図を市広報等に掲載できないか。工事再開に伴う作業期間中の交通安全対策は。

**答** 地域の皆さんが独自で考えられた名称にしてはどうか。完成予想図の工事現場や市広報への掲載については検討する。工事車両の頻度、時間帯等を調整し、必要であれば通学路の変更や迂回路を設定したい。安全対策は学校で講じる。



美祢線「鴨庄踏切」から「新」橋へ

## 学校給食自校調理方式は宝だ！

岩本信子 議員

**問** 県下で唯一学校給食自校調理方式を守っているが、共同調理場建設の資金でドライ方式へ改善・改修計画はできないのか。また、学校給食衛生基準には、ドライ方式が明記されているのか。

**答** 財政計画については正確ではないが、庁議等での苦勞を聞いている感触として、現実的には無理だと考えている。衛生基準には明記はされていないが「ドライに努める」「ドライ運用を図る」とある。安心、安全面で強力に推進する立場である。



早期改善を望む  
アルマイト食器

# 一般質問

## 県で一番高い国保料の引き下げを

中島 好人 議員

**問** 高い国保料の原因に医療費の増大がある。医療費引き下げに有効なのがジェネリック医薬品の促進である。呉市では、差額通知の実施で、平成22年度の医療費削減効果は7390万円となっている。当市のジェネリック促進についてはどうか。

**答** ジェネリック医薬品希望カードを配布しているが、来年度からは、差額通知の送付を実施するため、医療機関等と調整を図っている。



ジェネリック医薬品希望カード

## 積極的に情報の提供を

河野 朋子 議員

**問** 市長が昨年9月に病院建設について経理担当に試算させた資料を請求したが「ポケットのメモである」「請求は市民の権利の濫用」の理由で公開してもらえなかった。3月に不服申し立てをし、7月に審査会が「公文書である」つまり公開すべきと答申を出した。しかし市長はこれを棄却し、公開しないと結論を出された。市民本位というスタンスなら積極的に情報を提供すべきではないか。

**答** 審査会が出した答申は法的解釈に誤りがあるので、公開しない。不服なら市を被告として訴えることができる。



## エリアメール等で安心安全な町へ

伊藤 武 議員

**問** 防府市の防災ラジオ方式やメール受信者の経費や届けを伴わず、エリア内の全ての受信者へ発信できる防災エリアメールを活用し、非常時、緊急時など市民向け通報体制整備やホームページ活用等で出産、葬儀告知を広く伝達し「絆」第一となるつながりと相互共助のまちづくりをされたい。

**答** 防災ラジオは経費がかかる。葬儀告知等は個人情報である。アンケート等で検討する。エリアメールの経費は、防災メールと発信費用は変わらない。



災害・防災情報は迅速に

## 財政状況の推移と課題

石田 清廉 議員

**問** 好転も楽観できない市財政、財政健全化のための歳入確保、歳出削減の取り組みは。

**答** 歳入では市税等の徴収率アップ、市有財産の処分、市の広報媒体を通じた広告収入などに努め、歳出では公共施設の統廃合、指定管理者制度の導入、職員の定員適正化、給与削減、補助金カットなどに取り組んでいる。近年の財政指標は好転し、2010年度決算時の経常収支比率は前年度比4.1ポイント低下したとはいえ不況下での税収低下による今後の財政見通しは楽観できない。





# 議会報告会

## ◎初めての議会報告会を開催しました



### 《議長あいさつ》

今回初めての取り組みとして、市民に開かれた議会を目指して、議会としての説明責任を果たすために議会報告会を行いました。この中で議会の概要と最近の議会の動きを報告し、意見交換では忌憚のないご意見をいただきました。今後も引き続き開催をいたしますので、ぜひご参加いただきますようお願い申し上げます。

### 会場での主な質問・意見

- 広報広聴委員会の構成は、恒久的なものか。
- 市民が市政に参画する意識が大事で、議会報告会は議会の動きが分かるので大事だ。
- 若者の就職対応やデータ収集をしてほしい。
- 企業誘致特別委員会に期待している。遊休農地にメガソーラーができないか。
- 議会基本条例制定特別委員会で議員定数削減、報酬などの検討はされているのか。条文策定は市民目線で。
- 行政不祥事の場合、担当部署の職員への処分が甘い。
- 国保保険料が大変高い。病気にならない対策がいる。
- ジェネリック薬品の使用をさらに進めるべきだ。
- 市民病院建設の情報を市民に提供してほしい。建設場所は安全面、防災対策は大丈夫か。

8月8日から3日間公民館などで議会報告会を開催しました。企画・運営などは広報広聴委員会が行いました。下記のアンケートのように参加された多くの市民の皆さまからご好評をいただきました。各委員長による報告はパワーポイントを使って分かりやすさを工夫、参加者との質疑応答も各委員会ごとに行いました。

最後に意見交換も行われ、参加者からの率直な意見が飛び交うなど活発な意見交換の場となりました。

- 8月 8日 須恵公民館 22人
- 8月 9日 高千帆福祉会館 23人
- 8月 10日 山陽保健センター 22人

### 議会報告会アンケート結果

(参加者 67名 中回収 44枚)

#### 1. 議会報告会の開催をどのようにして知りましたか

- \* 回覧 24名 (53%)
- \* ホームページ 1名 (2%)
- \* 知人から誘われた 11名 (24%)
- \* 新聞 2名 (4%)
- \* その他 8名 (17%)

#### 2. 説明の内容について

- \* 分かりやすかった 20名 (47%)
- \* 分かりにくかった 4名 (10%)
- \* どちらとも言えない 18名 (43%)

#### 3. 説明時間について

- \* 短すぎた 9名 (25%)
- \* 長すぎた 3名 (8%)
- \* ちょうど良かった 24名 (67%)

#### 4. 議会報告会について

- \* 良かった 30名 (74%)
- \* 良くなかった 1名 (2%)
- \* どちらとも言えない 10名 (24%)

#### 5. 今回のような報告会に参加したいと思いませんか

- \* 参加したい 41名 (95%)
- \* 参加したくない 2名 (5%)



# 視察報告

## ◎総務文教常任委員会視察報告

視察者 ■ 吉永美子 伊藤 實 河崎平男  
硯谷篤史 中島好人 中村博行  
平原廉清 大空軍治

視察日 ■ 8月8日

視察先 ■ 光地区消防組合消防本部

総務文教常任委員会は8月8日に光地区消防本部に行ってきました。目的は①来年度完成予定の山陽消防署建設の参考にするため、②一部事務組合について調査するためです。

光地区消防組合庁舎は老朽化のため、平成15年に防災体制の強化と自主防災意識の普及啓発を主眼に、震度7の耐震性を持つ建物として新築しました。庁舎内の設備で、防災センターの災害遭遇バーチャルシアター・地震体験コーナーなどさまざまな体験プログラム

が整備されていました。また、ヘリポートの設置、電力の一部を賄う太陽光発電の設置、職員の多目的訓練壁や訓練室も整備されているなど、とても参考になりました。また、一部事務組合は光市・田布施町・周南市（旧熊毛町区域）の3自治体で昭和48年に組織されていて、議員定数や経費負担の割合など参考になる点が多くありました。



光地区消防本部

## ◎会派「改進黨」視察報告

視察者 ■ 衛藤弘光 石田清廉 小野 泰  
河崎平男 中村博行

視察日 ■ 7月13日～15日

### ＜岐阜県関市議会の議会改革について＞

議会を活性化する方策として、一般質問の一问一答方式を取り入れるなどの議会改革を行っています。一问一答の効果は、①通告した質問順に一问ずつ区切って質問、答弁を行うことにより、一问ずつ完結にしてから次の質問に移るため、傍聴者にも分かりやすくなった。②質問回数に制限がないためより詳しい答弁を受けることができる。③時間制限があるため、質問項目への時間配分などに議員の裁量が必要になる。

### ＜和歌山県橋本市の防災計画について＞

デジタル防災行政無線システムを整備し、親局と屋外拡声子局の間で、双方向の通信ができます。緊急時には、防災用の緊急情報伝達手段として活用し、平常時は行政情報の広報用として活用しています。

### ＜奈良県大和高田市のごみ有料化について＞

地球温暖化対策のため、ごみ量の削減が急務となっており、リサイクルの推進により、ごみの減量や再資源化に一定の効果を上げています。さらに減量化をするため、ごみの有料化が必要となり、有料化実施後は約20%も、ごみの減量効果がありました。



大和高田市にて

## ◎あなたも本会議を傍聴しませんか



本会議は、どなたでも傍聴できます。定員は報道関係者を除き35人で、他に車椅子(2人)の方のための傍聴席もあります。入口の受付で住所、氏名、年齢を記入していただきます。

### ■傍聴のとき守っていただくこと

- 静粛にすること
- 帽子、コート、マフラー等は着用しない。ただし、病気等の場合は議長の許可を得れば着用できます。
- 飲食または喫煙をしないこと
- 議長の許可を得た場合以外、撮影または録音等をしないこと
- 携帯電話等の電源は切断しておくこと

### ■12月定例会会期日程(予定)

月日	会議名
12月2日(金)	本会議初日
12月9日(金)	一般質問
12月12日(月)	一般質問
12月13日(火)	一般質問
12月14日(水)	一般質問
12月15日(木)	一般質問
12月20日(火)	本会議最終日

※開会時間は午前10時です。

### ニュース

## 市議会議員研修に参加しました

### 山口県市議会議員研修

8月18日(木) 防府市地域交流センターで行われた市議会議員研修会に19名の議員が参加しました。

第1部では「住民と歩む議会改革」(山梨学院大学 江藤俊昭教授)第2部では「自治体の危機管理と住民の防災力の向上」(山口大学大学院 瀧本浩一准教授)があり、1部では議会の役割の大きさを再確認し、2部では激甚災害が多発している近年、予防対策が重要との認識を新たにした意義深い研修でした。



研修会会場の様子

## 編集室より



猛暑日から彼岸花、そしてコスモスへと季節は確実に変わってきました。

広報広聴委員会の手による新装「議会だより」第25号をお届けします。

提案された議案の内容と議会の議論がよく分かるように工夫し、写真も多く入れて読みやすさを重視。一般質問も一問一答にし、発行日も半月早めてお届けします。

皆さまのご意見をぜひお寄せ下さい。

### ◎広報広聴委員会

委員長 河野 朋子	副委員長 下瀬 俊夫
委員 石田 清廉	委員 大井 淳一郎
委員 河崎 平男	委員 硯谷 篤史
委員 中村 博行	委員 山田 伸幸



《表紙の説明》6月議会報告会に続いて9月議会の報告会を10月12日から6日間、6会場で開催しました。平成22年度決算など、委員会ごとの報告を、毎回日替わりで各議員が行いました。